



二小だより

No. 4 (7月号)
令和8年 6月23日
武蔵野市立第二小学校

「何かしたいと思ったら怖がらない」

副校長 藤間 研吾

先日、ニュースを見ていたら気になるコメントが聞こえてきました。コメントしていたのは、日本人としては初めて、カンヌ映画祭最優秀女優賞を受賞した俳優の岡本多緒さんでした。

『何かしたいと思ったら怖がらない。』

『石橋を叩いて渡るの逆で、吊り橋をスキップして渡る。』

今年度、本校が目指す学校は『みんなでつくる 子どもたちの「笑顔」と「夢」があふれる学校』です。始業式で校長は「この1年はたくさん挑戦し、たくさん失敗し、そしてたくさん考えてほしい」というメッセージを全ての児童に伝えました。挑戦することは、ときに力や勇気が必要なことがあります。岡本さんはそんなことは考えず、自身の夢の実現のために怖がることなく挑戦し、逆境さえも楽しんでいました。今回の岡本さんのコメントは、シンプルだけど力強く、簡単そうでとても難しいものですが、本校の児童にぜひ伝えたいと思うコメントでした。夢を叶えた人のコメントには力があり、夢に向かう人にとって大きなアドバイスになります。

『全く現実味が湧いておらず、一生湧くことがないのでは。』

大きな夢の一つを叶えたにもかかわらず、岡本さんはこのようにも語っていました。一生湧くことがないかもと推測して話しているのは、さらなる夢を追い続ける人のマインドなのかもしれません。

第二小学校の子どもたちには、「夢」を追い続けることのすばらしさを感じ、本校の強みである心理的安全性の高さのもと、夢の実現に向けて「何かしたいと思ったら怖がらない」というマインドをもち続けて行動してほしいと思います。そして、学校は、その大小にかかわらず子どもたちが一つでも多くの夢をもち、叶えることができる場となるよう努めてまいります。

「なかよし給食について」

特別活動班

縦割り班で給食を食べる「なかよし給食」も、3年目となります。それぞれの縦割り班の教室で、給食を詰めたお弁当を持ち寄り、異学年の友達と会話を楽しんだり片付けをしたりしながら給食の時間を過ごします。また今年度は3月に行う「6年生を送る会」の後にも、「なかよし給食」を予定しています。縦割り班活動の交流を充実させ、学校生活をより実りある日々になるようにしていきます。

<日時> 7月10日(金)

<持ち物>エコバッグやビニール袋など(お弁当・牛乳が入る物)

お弁当箱のサイズは約20×17×4cmになりますので、マチ付きの袋をお勧めします。

また、ランチョンマット(持ってきた人のみ)を敷いてもかまいません。